

第73回日本ユネスコ運動全国大会 in 仙台への参加報告

発祥の地 仙台から世界へ UNESUCO 憲章の理念を未来に！

会 期 2017年7月15日～16日

会 場 仙台国際センター（宮城県仙台市青葉区青葉）

参加者 亀井、足立、井上、小川、坂本、世木田、高田、藤井（正）、松原

主なプログラム

- 1 特別講演 『気候変動に挑戦する知と勇気を持つ若者を育てよう』
講師 ラジェンドラ・クマール・パチャウリ氏（ノーベル平和賞受賞）
- 2 映像と演奏による講演 『地球のステージ』
講師 桑山紀彦氏（医師）
- 3 みらい創造隊 Presents
青年部がいざなう現在・過去・未来のユネスコ探検ツアー
- 4 パネルディスカッション『高校生が届けるメッセージ』
～持続可能な社会の構築のために～
- 5 パネルディスカッション『ESD・地球の平和を守ろう』
～環境・防災・文化の実践者による討論～



特に印象的だったもの（抜粋）

特別講演『気候変動に挑戦する知と勇気を持つ若者を育てよう』の中で人類が気候を変えている

CO₂の増加

原因～化石燃料、セメントの製造、森林の減少

影響～氷河の減少、水面上昇、大気不安定（洪水、失業、貧困、水と食糧

対策～パリ協定（実現できるか）、POP運動（地球を守る運動）

緩和手段

より効果的なエネルギーの利用

CO₂吸収源の改善

生活スタイルと行動様式の変化

感想

- ・ 環境・防災・文化を切口とした大会であった。
- ・ 仙台大会だけに、「復興」ということが強く打ち出されていた。
- ・ 地球の「復興」
温暖化などによる地球破壊からの復興
災害からの復興、「田んぼ」の見直し
- ・ 青少年の躍動的な活動の発表が多かった。
平和の心を次世代に伝えていくという民間ユネスコ活動の理念にふさわしい大会であった。

